

県立高校「1人1台端末」環境の復元について

1 経緯

令和2年度に「地方創生臨時交付金」を活用して、県立高校に整備した「1人1台端末」の故障が令和5年7月より急増。教育タブレット端末に関する緊急対策会議や教育DX加速化委員会において対策を協議し、議会に諮り、補正予算による緊急調達などで対応中。

2 故障状況（R6.6.3時点）

不足数	故障等台数	故障等台数のうち	
		バッテリー膨張	駆動時間1時間未満
1, 489	10, 142	6, 744	1, 688

3 端末配備状況（予定含む）

完了時期	
R6.1.24	C A I 教室専用端末調達（Windows OS: 500台）
2.27	緊急先行調達（Windows OS: 500台）
3.28	四電工無償提供分（Windows OS:3,500台）
5.9	通常調達（Windows OS:1,500台 Chrome OS:1,500台）
8.末	追加調達（Windows OS:2,000台 Chrome OS:2,000台） 「1人1台端末」環境が復元できる見込み

4 株式会社四電工との協議

（1）新たな提案（R6.5.28）

地域に根ざした企業としての社会的・道義的責任を果たすため、3つの提案。

- ・ 2,000台のバッテリー交換による無償修理
- ・ 500台の無償提供
- ・ 1,000台を上限とした追加の無償修理（さらに端末不足が発生した場合）

（2）対応方針

教育委員会では、この提案を受け入れ、今後、この問題について、原因と責任に関する四電工との新たな協議は行わない。

今後は、ネットワーク環境の改善やChromeBookの導入実証による次期タブレット端末のOS選定等を進め、教育DXの推進を図る。